



## 2023 年 3 月

---

- 今回のリリースでの新機能 (1 ページ)
- このリリースでの変更点 (1 ページ)
- 不具合 (3 ページ)

### 今回のリリースでの新機能

#### 新しいソフトウェアリリース

**Cisco Spaces** : コネクタ 3 の Amazon マシンイメージ (AMI) のバージョンは、Amazon Web Services (AWS) Marketplace に公開されています。詳細については、『[Cisco Spaces: Connector 3 Configuration Guide](#)』を参照してください。

#### **Cisco Spaces** : コネクタ 3

デフォルトでは、新しい **Cisco Spaces** : コネクタ 3 インスタンスが追加されると、ロケーションが追加されます。

### このリリースでの変更点

#### **Cisco Spaces** ダッシュボード

**Cisco Spaces** ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

#### 位置分析

位置分析アプリの GUI が刷新され、ユーザー体験が強化しました。この刷新では、ユーザー体験の向上と、ユーザーが位置分析データから生成できる価値の強化に重点が置かれています。

この刷新は、メトリックの計算や数値には影響しません。

この刷新の主要なメリットは、次のとおりです。

- 2セットのロケーション、SSID、および期間を比較する機能
- タイルやチャートを再配置してレポートビューをカスタマイズする機能
- テンプレートを使用してカスタムレポートを作成する機能



- (注) 刷新されたカスタムレポートには、既存のカスタムレポートとの下位互換性はありません（このリリースより前に作成されたカスタムレポートは Cisco Spaces ダッシュボードに表示されません）。

### ロケーション階層 2.0 のグローバル RBAC

ロケーション階層 2.0 は、Cisco Spaces ユーザーがアクセスできるロケーションのみを表示するように機能拡張されました。これらのロケーションへのアクセス可能性は、ロールを作成または編集するか、[管理者管理 (Admin Management)] で Cisco Spaces ユーザーを招待または編集するときに定義されます。



- (注)
- このグローバルロールベースアクセスコントロール (GRBAC) 機能は、ロケーション階層 1.0 でサポートされています。
  - GRBAC 機能は、現在、**Cisco Spaces : 検出と位置特定** アプリユーザー ([Cisco Spaces : 検出と位置特定 (Cisco Spaces: Detect and Locate)] > [ユーザー管理 (User Management)] > [アプリユーザー (App Users)]) ではサポートされていません。

### Cisco Spaces ダッシュボードでのスイッチのロケーション統合

Cisco Spaces ダッシュボードでは、[有線ネットワーク (Wired Network)] でスイッチを追加または編集する場合、[ロケーションの追加 (Add locations)] オプションをクリックしてロケーションを選択し、スイッチに関連付けます。

#### 接続のテスト

Cisco Spaces の接続テスト機能は、**Cisco Spaces : コネクタ 3** をサポートするように機能拡張されています。コントローラを追加するときは、接続テスト機能を使用して新しいコントローラのステータスを確認します。



- (注) 接続テスト機能は、**Cisco Spaces : コネクタ 2.x** でサポートされています。

#### コントローラインポート機能

Cisco Spaces ダッシュボードは、コントローラまたは Cisco スイッチを同じアカウント内の別のコネクタに移動するタスクをサポートするようになりました。

次のコネクタ間でコントローラまたは Cisco スイッチを移動できます。

- Cisco Spaces : コネクタ 2.x から Cisco Spaces : コネクタ 2.x
- Cisco Spaces : コネクタ 2.x から Cisco Spaces : コネクタ 3
- Cisco Spaces : コネクタ 3 から Cisco Spaces : コネクタ 3
- Cisco Spaces : コネクタ 3 から Cisco Spaces : コネクタ 2.x

#### ソフトウェアリリースの拡張機能

**Cisco Spaces : コネクタ 3** ロケーションサービス バージョン 3.0.1.272 がリリースされました。

**Cisco Network Services Manager** バージョン 3.0.4.13 がリリースされました。

## 不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

## 未解決の不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースにおける未解決の不具合を示します。

表 1: Cisco Spaces 未解決の不具合

不具合の識別子	不具合の説明
<a href="#">CSCwd41670</a>	Cisco DNA Center と Cisco Spaces の間での大規模マップファイル同期のサポート
<a href="#">CSCwe86258</a>	位置分析：カスタムレポートで、編集ウィンドウページから SSID を変更できない

## 解決済みの不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決済みの不具合について説明します。

表 2: Cisco Spaces 解決済みの不具合

不具合の識別子	不具合の説明
<a href="#">CSCwe84200</a>	IoT エクスプローラ：アセット名がデバイスの MAC アドレスによって上書きされる
<a href="#">CSCwe15039</a>	マップサービス UI セクションにフロアマップ画像が表示されない

不具合の識別子	不具合の説明
CSCwe45698	Firehose イベントでは、ゾーンレベルの更新でマップ ID 情報を送信することが予期される

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。